

# 平成22年度北上市職員協働研修

1月21日（金）13：30～15：30 第2回北上市職員協働研修が開催されました。

今回の研修では、前回、6チームで練った協働事業計画シートを発表する「協働企画コンペ」を行い、投票をしました。その後は、副市長から講評をいただき、事業計画の高め合いを行いました。

## ■協働企画コンペ



### ①プロジェクトA

「毅哲君のアフター5を充実させよう」

### ②チーム動境

「地域貢献のための機材貸し出し」

### ③カトケン

「住民基本台帳カード普及促進事業」

### ④水洗お助けマン

「水洗お助けしますマン」

### ⑤ドラゴン

「生活協力支援（買い物弱者への移動補助及び店舗での買い物補助対策）」

### ⑥(株)狭愛

「狭愛（狭あい）道路整備事業」

各チーム7分ずつ、パワーポイント等を使って協働企画を発表しました。

企画は**実行性**、**協働性**、**効果性**の3つの観点から、各自が採点評価をし、投票を行いました。

結果、**チーム動境「地域貢献のための機材貸し出し」**が総合優勝しました！

## ■副市長からの講評

今回の研修で、皆さんには協働を真剣に考えていただいたと思います。

いろいろな課題や現状が職員側から出ているのは

経営改革の一環として大切なことなのでしょうが、要は住民サービスが協働でやることによってどう変わっていくのか、質・効率性で住民サービスがより向上するために、どういう協働を行うべきかという視点もあってよかったのではと思います。

住民のサービスを向上するためには、誰が何をするのか、地域は何をするのか、行政は何をするのか、そしてお互いに協力し合いながら進めていくというのが基本だと思いました。

地域、行政の役割はもう少し具体的に、(株)協愛のように住民は土地の提供をする、市役所は工事をするというにわかりやすく明示すると良かったと思います。

このような研修をなぜするのか、協働の研修ではあるけれど、論理的にものを考え、現状を把握し、手法を考える、そしてその効果を論理立てて考える、思考するものだと思います。このような研修を重ね、論理的にものを考え、試行して物事を進めていただければと思います。今日はありがとうございます。

## ■事業計画の高め合い



副市長から講評をいただいた後は、アドバイスを基に、事業の高め合い・深め合いを行いました。

そして、今回の研修をふりかえりました。

皆さん、おつかれさまでした。